



外国語教育メディア学会（LET） 第 105 回（2025 年度秋季） 中部支部研究大会 プログラム



大会テーマ：「学際的に言語教育を考える」

日時 2025 年 12 月 20 日（土）10:00-17:00

会場 静岡大学 浜松キャンパス 情報学部棟
〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北 3-5-1

研究大会実行委員長 宮崎 佳典（静岡大学）

主催 外国語教育メディア学会（LET）中部支部
後援 浜松市教育委員会

問い合わせ先：外国語教育メディア学会（LET）中部支部事務局
事務局長 工藤 泰三（名古屋学院大学）taizo@ngu.ac.jp

参加申込締切は 12 月 15 日（月）です

大会詳細は右の二次元コードから
(<https://www.letchubu.org/conferences/105th/>) →



時 程

9:30 受付開始

10:00 - 10:10 開会行事【第1室（情27教室）】

司会：工藤 泰三（名古屋学院大学）

主催者挨拶：高橋 美由紀

（中部支部副支部長・愛知教育大学）

開催校挨拶：小西 達裕 氏（静岡大学情報学部長）

10:10 - 11:50 講演【第1室（情27教室）】

司会・講師紹介：工藤 泰三（名古屋学院大学）

講師：柁木 貴之 氏（北海学園大学）

「国語×英語：学際的に言語教育を考える」



現行学習指導要領では、小中高すべての段階で「国語教育と英語教育の連携」が推奨されている。しかし、「連携」は本当に新しい発想なのだろうか。また、「連携」の実践はどのように行えばよいのだろうか。このような問いについて考えるため、拙著『国語教育と英語教育をつなぐ：「連携」の歴史、方法、実践』（東京大学出版会、2023年、456頁）は書かれた。同書の内容に基づき、講演の前半では「連携」の歴史を概観する。後半では「連携」の方法と実践について考察を行い、その教育効果を検証するとともに、著書刊行後の研究についても紹介したい。

【講師略歴】北海学園大学経済学部教授。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士（学術）。明星高等学校・英語講師、明治学院高等学校・国語講師、東京理科大学・英語講師等を経て現職。主著『国語教育と英語教育をつなぐ：「連携」の歴史、方法、実践』（東京大学出版会、2023年、456頁）で東京大学而立賞、日本英語教育史学会著作奨励賞、外国語教育メディア学会学術賞。

11:50 - 13:00 昼食

（各自でお済ませください。ランチョンセミナーにご参加いただきながら召し上がっていただくこともできます）

12:00 – 13:00 賛助会員プレゼンテーション（ランチョンセミナー）

【第1室（情27教室）】司会：工藤 泰三（名古屋学院大学）	
12:00-12:10	株式会社アルクエデュケーション
12:10-12:20	株式会社エル・インターフェース
12:20-12:30	株式会社 BooQs
12:30-12:40	株式会社 EduSupport
12:40-12:50	チエル株式会社
12:50-13:00	ピアソン・ジャパン株式会社

.....

13:10 – 14:50 研究発表・実践報告（発表概要は pp. 5-7 をご参照ください）

【第1室（情27教室）】 司会：中山 麻美（岐阜医療科学大学）	【第2室（情25教室）】 司会：柴田 里実（金城学院大学）
13:10 – 13:40 【研究発表】 継続的な協同学習が英語学習動機づけに及ぼす影響の検討：ジグソーリーディングを事例として 寺井 雅人（愛知工科大学） 三上 綾介（愛知学院大学） 川口 勇作（愛知学院大学）	13:10 – 13:40 【研究発表】 医学系対訳コーパスを使用した英語学習 Web アプリケーションの機能拡張：個別学習と協調学習を促進するハイライト機能の実装 清水 敬亮（静岡大学） 宮崎 佳典（静岡大学） 浅野 元子（大阪医科大学） 藤枝 美穂（大阪医科大学）
13:45 – 14:15 【研究発表】 日本人学習者の英語発話におけるわかりやすさと言語特徴の非線形的関係の分析：擬似データによるシミュレーション 三上 綾介（愛知学院大学） 脇田 久美（名古屋大学大学院） 小林 真実（名古屋大学） 橋崎 諒太郎（松山大学） 広瀬 八重子（東海学院大学）	13:45 – 14:15 【研究発表】 医学系対訳コーパスを用いた英語学習支援 Web アプリケーション：ライティングスキル向上のための機能拡張 安田 陸（静岡大学大学院） 宮崎 佳典（静岡大学） 浅野 元子（大阪医科大学） 藤枝 美穂（大阪医科大学）
14:20 – 14:50 【研究発表】 英語ナレーション課題に付随するフレーズ指導・反復・振り返りの効果：参加者の意識と言語使用の変化 小林 真実（名古屋大学）	14:20 – 14:50 【研究発表】 韻律情報のどの要素が統語構造の予測に寄与するか：平板音声を用いた検討 後藤 亜希（関西大学）

.....

15:00 – 16:50 シンポジウム 【第 1 室（情 27 教室）】

「学際的に言語教育を考える—ジェンダー×英語、PBL×英語、医療×英語」

シンポジアスト：市川 裕理 氏（名古屋商科大学）

小堀 淳子 氏（名城大学附属高等学校）

高木 久代 氏（鈴鹿医療科学大学）

モデレーター：高橋 美由紀（愛知教育大学）

＜各シンポジアストの発表概要＞

市川 裕理 氏「動画制作を取り入れたジェンダー教育プロジェクト：気づきから自分事化へ」

「考えもしなかった」目に見えないバイアスに気づき、動画作成を通じて問題を自分事化していくジェンダー教育プロジェクト。社会の見方、これからの生き方を考えさせる CLIL 実践を紹介します。

小堀 淳子氏「高大連携による実践的英語教育の試み

—シンガポールのホテルを題材とした課題解決型学習—

約 3 か月にわたり、名城大学外国語学部の学生と附属高校生が連携し、シンガポールのホテルに向けて日本人旅行者増加策を英語で提案した。実践的な英語力と探究的思考を育成する試みである。

高木 久代 氏「医療系学生への英語教育」

鈴鹿医療科学大学では、医療分野で求められる英語力の向上のため、独自テキストを用いて英語を指導し、英語力だけでなく、学習意欲や専門分野の理解も高めている。その取り組みの一端を紹介する。

.....

16:50 -17:00 閉会行事 【第 1 室（情 27 教室）】

司会：工藤 泰三（名古屋学院大学）

閉会挨拶：西尾 由里（中部支部長・名城大学）

.....

17:30 – 懇親会 【生協北館（大学キャンパス内）】

発表概要

第1室（情27教室）

- (1) 継続的な協同学習が英語学習動機づけに及ぼす影響の検討：ジグソーリーディングを事例として【研究発表】

寺井雅人（愛知工科大学）・三上綾介（愛知学院大学）・川口勇作（愛知学院大学）

継続的かつ自律的な英語学習には、学習者の英語学習動機づけが重要な役割を果たす。自己決定理論では、基本的心理欲求の充足が動機づけを高めるとされる。協同学習は基本的心理欲求を促進する活動と考えられ、英語学習動機づけの向上にも効果が期待される。本研究では、グループで協働して行う読解活動「ジグソーリーディング」が基本的心理欲求および英語学習動機づけに与える影響を検証した。英語習熟度が初中級程度の大学1年生を処置群（75名）と対照群（85名）に分け、両要因を測定する質問紙を指導開始直後と終了後の2時点で実施し、回帰分析により変化を検討した。分析の結果、基本的心理欲求の三因子では両群とも顕著な伸びを示したが、英語学習動機づけは対照群のみで伸びがみられた。約半年間の協同学習により、基本的心理欲求が先に高まる一方で、英語学習動機づけの向上は限定的であることが示唆された。

- (2) 日本人学習者の英語発話におけるわかりやすさと言語特徴の非線形的関係の分析：擬似データによるシミュレーション【研究発表】

三上綾介（愛知学院大学）・脇田久美（名古屋大学大学院）・小林真実（名古屋大学）・橋崎諒太郎（松山大学）・広瀬八重子（東海学院大学）

外国語スピーキングにおいて「わかりやすさ」は最重要の到達目標の一つとされる。限られた教育資源のもとで効果的に学習者の能力を伸ばすには、わかりやすさに影響を与える言語的要因の特定が求められる。先行研究では、音声的特徴（発音・流暢性）や言語資源的特徴（文法・語彙・談話構造）との関連が報告されてきたが、その多くは、影響が段階を問わず一定であると仮定した線形モデルに基づいており、非線形性の検証は十分とは言えない。本研究では、先行研究で報告された日本人英語学習者の発話データの統計量を基に作成した言語特徴及びわかりやすさの擬似データから、発音の正確性、流暢性、語彙文法の正確性、語彙的複雑性、統語的複雑性、談話構造の6つの合成得点を算出し、非線形的関係を一般化加法モデルで分析した。その結果、4指標が統計的に有意であり、うち流暢性と統語的複雑性では非線形、発音と語彙文法の正確性では線形の関係が認められた。

- (3) 英語ナレーション課題に付随するフレーズ指導・反復・振り返りの効果：参加者の意識と言語使用の変化【研究発表】

小林真実（名古屋大学）

ナレーション活動及び反復練習は発話を向上させ、活動の振り返りは要改善事項への気づきを促すとされている。フレーズは発話の約半数を占め、その学習は発話の向上が期待できる。また、フレーズ学習のタイミングは発話の向上に影響を与えるとされている。本研究は字のない絵本の話英語で説明する口頭ナレーションを3週間行った参加者の意識変化と言語使用の特徴を調査する。

第1・2週目に、参加者Aにはナレーション前に、参加者Bにはナレーション後に pick up、get out 等のフレーズ指導を行った。指導フレーズを使用した2名（参加者A・B）の発話を分析した。参加者Aはフレーズの定着と意識の継続が見られたが、参加者Bは正確な使用が維持されなかった。振り返りコメントについて小規模データに適応する SCAT 分析を行った結果、参加者Aは動作表現への一貫した意識と学習意欲の向上が示され、参加者Bは反復と振り返り活動の有効性を認識していたことが示唆された。

第2室（情25教室）

- (1) 医学系対訳コーパスを使用した英語学習 Web アプリケーションの機能拡張：個別学習と協調学習を促進するハイライト機能の実装【研究発表】

清水敬亮（静岡大学）・宮崎佳典（静岡大学）・浅野元子（大阪医科薬科大学）・
藤枝美穂（大阪医科薬科大学）

医学教育分野では、英語論文の読解力向上のための効率的な学習支援が求められている。本研究では、医学系対訳コーパスを活用した英語学習支援 Web アプリケーション MEESUS の開発を行っており、学習者の個別学習と協調学習を促進する機能について報告する。第一に、検索結果の保存およびハイライト機能である。対訳の自動ハイライトにより専門用語の対応関係を明示し、効率的な個人用文例集の構築を支援する。第二に、ハイライトサジェスト機能である。これは全ユーザのハイライトデータを集計し、選択頻度や重複度に基づいて重要フレーズを提案するもので、他者の知見を活用した協調学習を促進する。今後は、本システムを用いた実証実験を通じてユーザビリティや学習効果を定量的・定性的に評価し、医学英語教育教材としての有効性を検証する。

- (2) 医学系対訳コーパスを用いた英語学習支援 Web アプリケーション：ライティングスキル向上のための機能拡張【研究発表】

安田陸（静岡大学大学院）・宮崎佳典（静岡大学）・浅野元子（大阪医科薬科大学）・
藤枝美穂（大阪医科薬科大学）

医学教育分野では、英語論文の読解や執筆に分野依存の表現理解が必要である。我々は医学系対訳コーパスを活用した英語学習支援 Web アプリケーション MEESUS を開発している。本システムは専門家検証済みコーパスを基盤とし、論文の背景・方法・結果・結論などのセクション情報を活用することで各セクション特有の表現学習を支援する。本発表では、ライティングスキル向上を目的とした2つの機能拡張を報告する。第一に、ユーザー入力文に基づく類似文提案機能を実装し、医学用語の重み付けによりドメイン特化型の文例提案を実現した。本機能のパイロット実験では使用率100%と肯定的フィードバック90%を記録した。第二に、このフィードバックを踏まえ、BERT (Googleが開発した自然言語処理モデル) による文脈理解と構文解析を組み合わせ、複雑な文法構造の識別精度を改善した。発表内では両機能の評価結果、先行研究との比較、今後の展望を議論する。

(3) 韻律情報のどの要素が統語構造の予測に寄与するか：平板音声を用いた検討【研究発表】

後藤亜希（関西大学）

英語母語話者はピッチやポーズ、音の長さなどの韻律情報を手がかりに統語構造を予測するとされているが、学習者がどのような韻律情報を活用しているかは明らかにされていない。そこで、日本語を第一言語とする英語学習者（大学1年生）20名を対象に、英語リスニングにおいて統語構造を予測する際に、韻律情報をどのように活用しているか検討した。刺激文には Late closure 文（Because the girl studied the word, it's clear now.）と Early closure 文（Because the girl studied, the word is clear now.）を用い、文頭から音声を段階的に提示するゲーティング法により、両文で共通する部分までの音声を提示した。音声は、基本周波数を平板化した音声と無加工音声の2通りを提示し、どちらの構造の文かを判定させた。その結果、無加工音声で動詞まで読み上げられた場合は、音の長さ情報を活用していることが明らかとなった。一方で、平板音声で両文の共通部分まで読み上げられた場合は、音の長さ情報は活用されず、ポーズのみが活用されていることが明らかとなった。

.....

<メモにお使いください>

～ ご 案 内 ～

賛助会員出展

会場内で出展していただきます。ぜひお立ち寄りください。

- 株式会社アルクエデュケーション (<https://www.alc-education.co.jp/academic/>)
- 株式会社エル・インターフェース (<https://www.supereigo.com>)
- 株式会社 三修社 (<https://www.sanshusha.co.jp/>)
- 株式会社 BooQs (<https://www.booqs.net/>)
- 株式会社 EduSupport (<https://www.edusupport.biz>)
- チエル株式会社 (<https://www.chieru.co.jp/corporate/corporate-info/>)
- ピアソン・ジャパン株式会社 (<https://www.pearson.com/languages/ja-jp.html>)

昼食

近隣の店舗が少ないため、ご持参いただくことをお勧めします。ご持参の場合は、会場にてランチョンセミナーにご参加いただきながらお召し上がりいただけます。

懇親会 ★ご参加の方は 12/5 までに大会参加申し込みをしてください

- 会場から徒歩数分の「生協北館」で行います。ぜひご参加ください。
- 会費はお 1 人 5,000 円、学生会員および大学学部生は 3,000 円です。当日お支払いいただきますので、できるだけお釣りのないようにご用意ください。
- 懇親会の参加希望は大会参加申し込みフォーム上でご入力ください。

大会参加のご案内

大会参加申込用コード



- ご参加には事前申し込みが必要です。12 月 15 日（月）までに Google フォームよりお申し込みください。URL は <https://forms.gle/LSNVNabe3jwArhik7> です（右の二次元コードもご利用いただけます）。
- 非会員の方は資料代として 1,000 円を当日受付の際にお支払いください。会員および大学学部生は無料です。
- 発表者の方も参加申し込みをお願いいたします。
- お子様連れでご参加の方のために家族休憩室を設けます（シッターの用意はありません）。ご利用の方は受付にてお申し出ください。
- 感染症の予防にご留意ください。発熱・咳などの症状がある方は来場をお控えください。
- 発表者の方は、発表開始 5 分前までにご自身の発表会場にお越しください。また、PC はご自身のものをお持ちください。
- 会場校のメンテナンスの都合により、一部暖房が入らない部屋があります。暖かい服装でお越しください。

新規ご入会案内

- 会員になれますと、LET 全国研究大会（年 1 回）や支部研究大会（年 2 回）での研究発表・実践報告、紀要への投稿などをしていただくことができます。
- LET 本部サイト（下記）にて入会登録をしていただくと仮会員になります。仮会員になられましたら、後日、年会費をご請求申し上げます。なお、年会費は次の通りです。

個人会員：年額 6,000 円 / 学生会員：年額 3,000 円 / 団体会員：年額 6,000 円

- 年会費をお支払いいただきますと、正会員になります（3 ヶ月以内にお手続きをお願いします）。

会員登録、会員情報の更新は

LET 本部サイト（<https://www.j-let.org/>）からお願いします →



.....

<メモにお使いください>

～ 会場へのアクセス ～

公共交通機関をご利用ください

遠鉄バス「静岡大学」バス停下車 徒歩約3分
浜松駅北口バスターミナルの15番・16番乗り場から発車するバスは
すべて「静岡大学」バス停に停車します



＜メモにお使いください＞

